



“オール近大”川俣町復興支援プロジェクト

近畿大学 社会連携推進センター

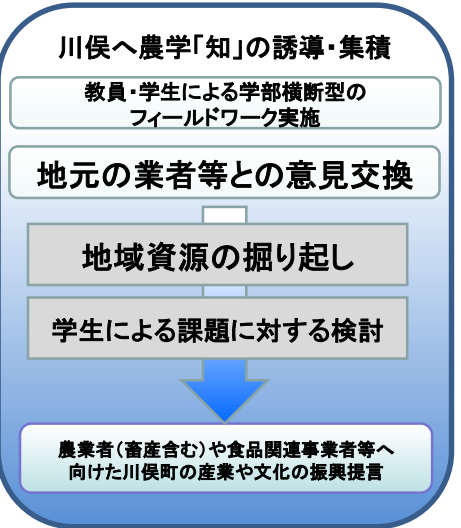
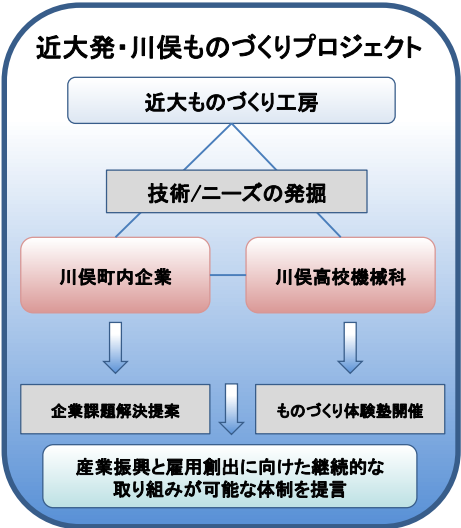
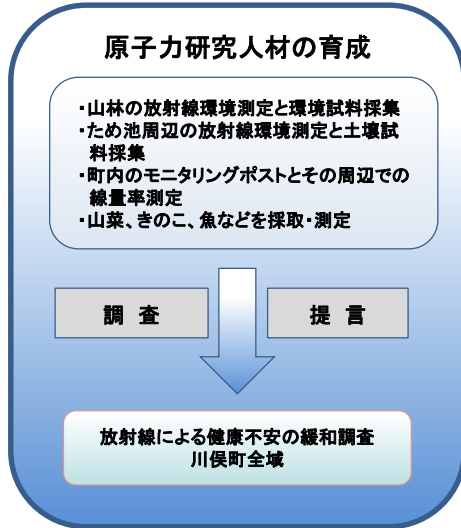
「川俣町から全国へ」

近畿大学は震災直後から川俣町の早期復興を支援するために、14学部48学科を擁する総合大学としての研究力を生かし「オール近大”川俣町復興支援プロジェクト」を立ち上げて、「マイナスからゼロへ」という被災からの再生支援と「ゼロからプラスへ」という復興支援の二つの柱の上に、除染研究・心身ケア・産業振興の分野で支援を行ってきた。

また平成29年(2017年)5月には、包括連携協定を締結。川俣町にとっては大学による復興知の享受、近畿大学には教育研究フィールドの提供という、互いの信頼関係を深めて、これまでの活動の範囲を教育・人材育成の領域まで広げることとした。

このたびの福島イノベーション・コースト構想促進事業では、今まで以上に近畿大学は総力を挙げて、これまでの再生支援と復興支援を柱として、川俣町民の意見を取り入れつつ、学生の知を組織的に活用した復興支援策を実行し、一つの復興モデルを構築することを目的とする。

～活動の記録～



“オール近大”川俣町復興支援プロジェクト

検索

